



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 中央紙器工業株式会社  
 コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 前 賢太  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
 TEL 052-400-2800

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,006	14.7	551	19.1	630	15.4	414	18.1
2019年3月期第3四半期	9,391	3.0	680	0.4	745	15.3	506	36.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 470百万円 (9.3%) 2019年3月期第3四半期 430百万円 (7.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	83.45	
2019年3月期第3四半期	101.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,748	11,880	86.4
2019年3月期	13,631	11,608	85.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,880百万円 2019年3月期 11,608百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	13.1	700	14.8	810	10.7	550	5.2	110.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,225,008 株	2019年3月期	5,225,008 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	258,024 株	2019年3月期	258,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,966,986 株	2019年3月期3Q	4,966,986 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料の2ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境に引続き改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、中国経済の減速など世界経済の不安定性に起因した国内での輸出の弱含みが続いていること、また消費税増税後の影響懸念などがあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、国内の段ボール生産量については、概ね前年比同水準で推移しております。

こうした状況下において、当社グループは、昨年度までの2度の原紙等材料価格値上げに対して、製品価格の改定と生産性向上による原価低減活動を行い、また拡販活動にも引続き取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高については、製品価格改定を進め、増収効果が出ているものの、中国事業のスキーム見直しにより、今期から中国分が外れたことにより減収となりました。また、利益については、生産性向上を進めているものの、原紙等材料価格の値上がり分を完全に回収するには至っておらず減益となりました。

以上により、売上高は80億6百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業利益5億51百万円（前年同四半期比19.1%減）、経常利益6億30百万円（前年同四半期比15.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億14百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は106億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加いたしました。これは主に電子記録債権が99百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、137億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億17百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が1億14百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、18億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は118億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億72百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億14百万円及び剰余金の配当1億98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率86.4%（前連結会計年度末は85.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました決算発表時の通期業績予想は見直しを行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,784,197	7,784,118
受取手形及び売掛金	2,066,085	2,044,717
電子記録債権	500,591	599,612
商品及び製品	127,546	139,074
仕掛品	15,731	19,232
原材料及び貯蔵品	53,604	81,994
その他	48,343	29,495
貸倒引当金	△484	△261
流動資産合計	10,595,614	10,697,982
固定資産		
有形固定資産	1,852,547	1,816,850
無形固定資産	37,135	30,399
投資その他の資産	1,145,715	1,203,416
固定資産合計	3,035,397	3,050,667
資産合計	13,631,012	13,748,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,100	736,040
未払法人税等	144,278	29,836
賞与引当金	131,274	58,247
役員賞与引当金	33,830	25,380
その他	323,299	330,327
流動負債合計	1,353,783	1,179,830
固定負債		
役員退職慰労引当金	69,620	82,350
退職給付に係る負債	548,054	553,854
その他	51,486	52,426
固定負債合計	669,161	688,631
負債合計	2,022,944	1,868,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	9,219,897	9,435,706
自己株式	△72,138	△72,141
株主資本合計	11,206,215	11,422,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	387,738	454,259
為替換算調整勘定	14,114	3,906
その他の包括利益累計額合計	401,853	458,165
純資産合計	11,608,068	11,880,187
負債純資産合計	13,631,012	13,748,649

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,391,041	8,006,367
売上原価	7,055,205	5,852,024
売上総利益	2,335,835	2,154,342
販売費及び一般管理費	1,654,902	1,603,182
営業利益	680,932	551,159
営業外収益		
受取利息	1,204	1,275
受取配当金	29,157	30,918
持分法による投資利益	11,789	24,941
仕入割引	7,606	7,790
その他	17,031	15,630
営業外収益合計	66,787	80,556
営業外費用		
為替差損	1,852	1,335
売上割引	227	162
その他	510	58
営業外費用合計	2,591	1,556
経常利益	745,129	630,159
特別損失		
減損損失	—	9,395
特別損失合計	—	9,395
税金等調整前四半期純利益	745,129	620,764
法人税、住民税及び事業税	214,660	181,576
法人税等調整額	24,082	24,699
法人税等合計	238,742	206,275
四半期純利益	506,386	414,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	506,386	414,488

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	506,386	414,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,341	66,521
為替換算調整勘定	2,057	△4,895
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,354	△5,312
その他の包括利益合計	△75,638	56,312
四半期包括利益	430,748	470,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,748	470,800

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

「II 当第3四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社グループは従来、「日本」「中国」の2区分を報告のセグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「日本」の単一セグメントに変更しております。

当社グループは、2018年12月13日に発表しました中国事業の再構築に伴い、2019年1月に当社の連結子会社である香港中央紙器工業有限公司の販売機能を当社持分法適用関連会社である東莞宏冠包装印刷科技有限公司に統合したため、中国での売上高は連結上計上されないことから、「日本」の単一セグメントとなりました。

この変更により、当社グループは、「日本」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。